

今後の活動への懸念から遅れている。今後も3協会が連携可能な活動を探り、統合をめざしていく。

【土木費】

公園整備事業

問 都市公園に設置されている階段の無い滑り台は、対象者も不明瞭で、使いにくく危険性もある。早期の更新が必要ではないか。

答 公園の遊具等は、老朽度や危険度等を判定し、優先度の高いものから更新しており、対象の滑り台に限定した早期更新の考えはない。今後、利用する方の声を反映できる仕組みを検討していく。

一般会計・国保会計修正案を提出

内容 物価高騰で苦しむ市民の負担軽減のため、国保税増税をやめ、さらに税額引き下げを行うため、財政調整基金3億3656万9千円を取り崩して国保会計へ法定外繰入し、減額分の財源とする。

委員会の討論・採決

【修正案に対する賛成討論】

国保税の増税をやめ、さらに引き下げを実施する内容であり、賛成する。

【一般会計及び国保会計原案、後期高齢者医療会計、廃棄物関係条例、国保税条例に対する反対討論】

一般会計では、子育て支援には積極的に取り組んでいるものの、市民要望が十分に反映されていない。国民健康保険、後期高齢者医療の特別会計は、増税により市民負担は増すばかり。また、廃棄物処理の手数料は値上げすべきではないという理由で反対する。

【全ての予算に対する賛成討論】

新年度予算は、これまでの取組の継続とともに「三原市版子ども子育て支援」「安全安心に向けた積極的投資」など、新たな取組の強化により前進的な予算となっている。多くの事業費に対する予算編成は適正に行われていることから、賛成する。

【採決】

一般会計及び国保会計の修正案については、賛成多数で否決。一般会計の原案及び国保会計の原案については、賛成多数をもって可決。後期高齢者医療特別会計、廃棄物処理手数料の条例改正、国保税条例改正については、賛成多数をもって可決。残余の23件については、全員一致で原案どおり可決した。

補正予算特別委員会の概要

補正予算特別委員会は、3月1日に開催し、一般会計補正予算（第8号）他11議案について審査した結果、委員会では全ての議案を可決しました。主な質疑は次のとおりです。

議30 一般会計補正予算（第8号）

【主な内容】

◎障害者福祉事業において、就労継続支援費、重度訪問介護費及び重度心身障害児者医療費などの利用者数及び扶助費が見込みを上回るため8400万円を追加する。

◎元市民福祉会館などの土地売却収入の一部を大規模事業基金に3億円積み立てる。

【主な質疑】

問 中小企業者支援給付金事業の申請期間を延長できないか。

答 国の交付金事業であり3月31日までに振込を完了することが条件のため、申請期限の延長は難しい。可能な限り事業周知を図る。

問 円一皆実線は見通しの悪い交差点があり大変危険であるが、何らかの対策は考えられないか。

答 この交差点に安全面で課題があることは認識している。今後、対策が出来るか検討する。

議53 一般会計補正予算（第9号）

【主な内容】

◎令和6年度予算に計上している指導者用デジタル教科書購入費に係る債務負担行為を追加する。

【主な質疑】

問 指導者用デジタル教科書の必要性和費用対効果はどうか。

答 この度購入するデジタル教科書はクラウド上で利用できるため、従来に比べ利用できる範囲や人数が大幅に拡大される。また、クラウド上のデジタル資料は大型モニターに表示することが可能で、子ども達の学習理解を深める事にも役立つと考える。

購入費には研究書籍や資料なども含まれる。全教科、全学年、小学校に導入するため、6400万円の経費がかかる。

【採決】

議第30号他11件について、採決の結果、全員一致で可決した。

